

世界水準のDMOのあり方に関する検討会 中間とりまとめに向けて

平成31年2月6日
観光庁

- 本検討会においては、年度内に予定する中間とりまとめにおいて、**①DMO全般の底上げに向けた改善の方向性**、**②世界水準のDMOに関する次年度の具体的検討の方向性**を提示することを目指し、これまでの各委員のご指摘やヒアリング等を踏まえて、議論して頂くこととしては如何か。

2020年までのスケジュール

今年度

世界水準のDMOのあり方に関する検討会 中間とりまとめ

現在のDMOの取組状況を踏まえ、
①DMO全般の底上げに向けた改善の方向性
②世界水準のDMOに関する次年度の具体的検討の方向性
を提示。

2019年度

世界水準のDMOに関する詳細な制度設計

上記とりまとめを踏まえ、
世界水準DMOに関する登録の技術的基準や選定
手法等の詳細な制度設計について検討。

2020年

世界水準のDMOの形成・確立

中間とりまとめに向けた議論の方向性(案)

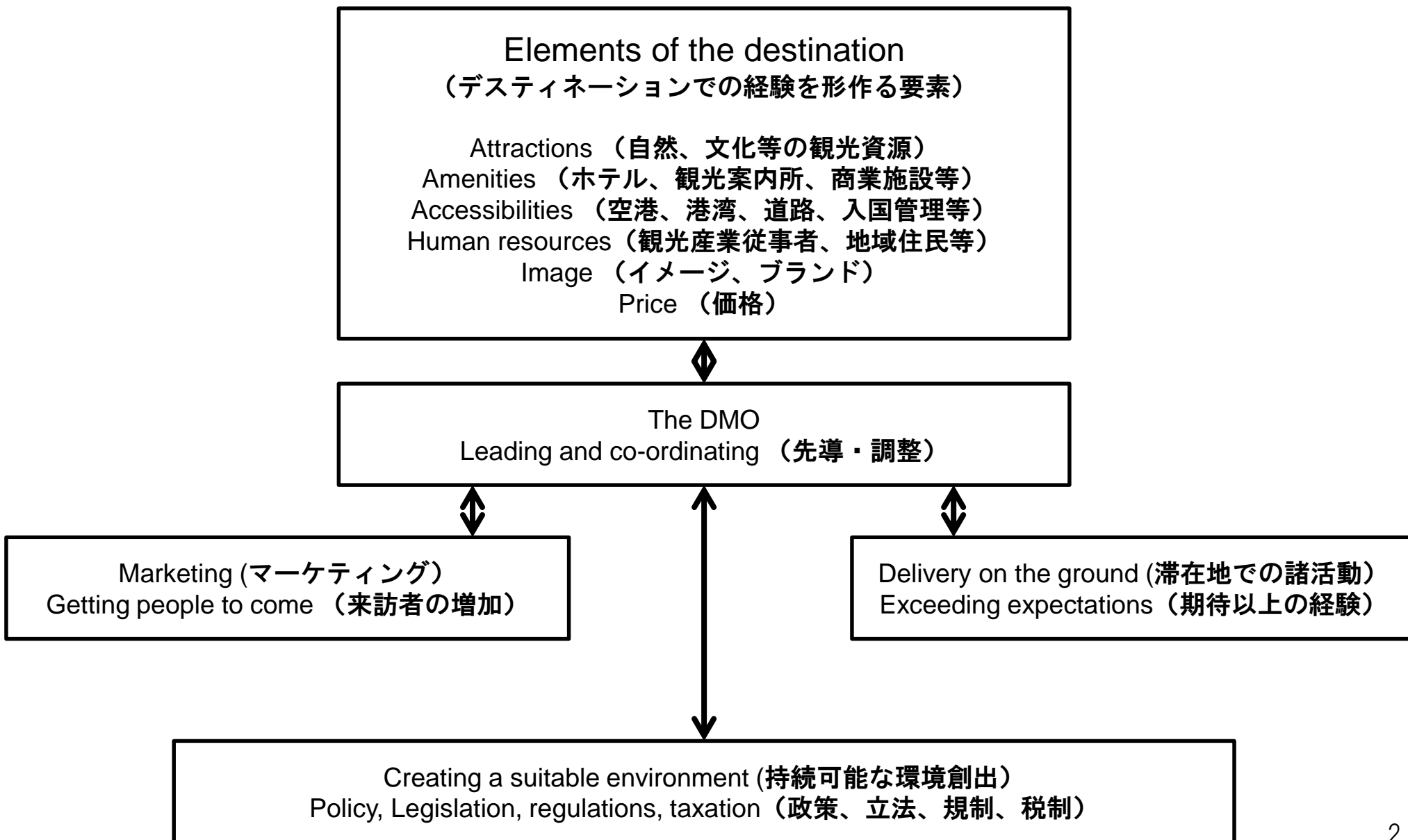
- 中間とりまとめにおいて、以下2点について提示することを目指して議論することとしては如何か。

①DMO全般の底上げに向けた改善の方向性

- ✓ 観光ビジョンに掲げられた目標達成に向けて取組むべき課題のうち、各地域やDMOに求められている役割は何か。
- ✓ JNTO、各層DMO、自治体の役割分担はどうあるべきか。
- ✓ DMOにおける組織・財源はどのようなものであるべきか。

②世界水準のDMOに関する次年度の具体的検討の方向性

- ✓ 世界水準のDMOの形成・確立に向け、必要な検討事項、求められる視点は何か。



DMOに求められる主な機能と各階層の分担イメージ(素案)

機能	JNTO (インバウンド)	広域DMO	地域連携/ 地域DMO	(自治体)	備考
①来訪者の満足度向上に向けた取組み (例: 観光案内、受入環境整備、 観光資源の磨き上げ、商品づくり)	—	○	◎	○	自治体、民間事業者等による取組みをDMOが統括
②域内事業者のビジネス機会創出支援 (例: 需要平準化、閑散期対策)	—	○	◎	—	域内の観光、商工、農林水産事業者等との協働体制の構築・強化
③観光人材の研修・育成、 地域住民への啓発	—	○	○	—	国レベルでの取組みも必要
④マーケティング (ターゲットング、データ収集、顧客管理等)	○	○	○	—	各階層に応じたマーケティング、 インバウンドはJNTOと連携
⑤情報発信	◎	○	△	—	各階層の重複排除・最適化、 インバウンドはJNTOと連携
⑥持続可能な観光地域づくり (混雑緩和、観光地の「質」の確保等)	—	△	△	◎	データに基づく客観的分析、 DMOが自治体を補完
⑦外国人旅行者への非常時の情報提供	◎	△	△	◎	DMOが自治体を補完